

岩手県感染症週報

平成25年第51週(12月16日～12月22日)

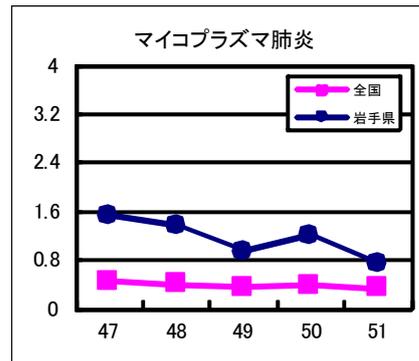
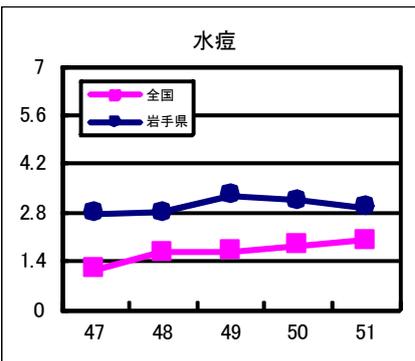
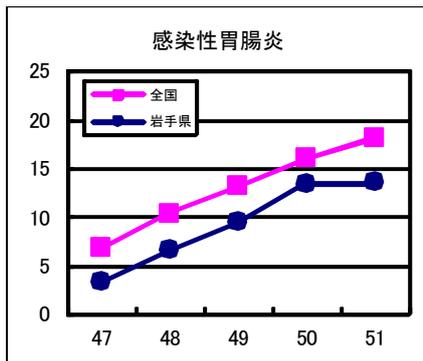
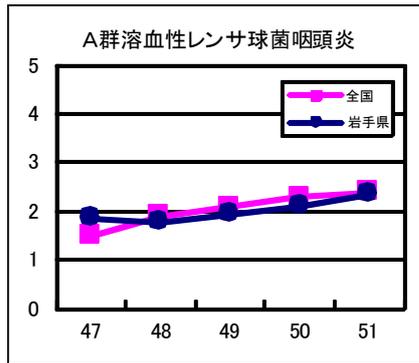
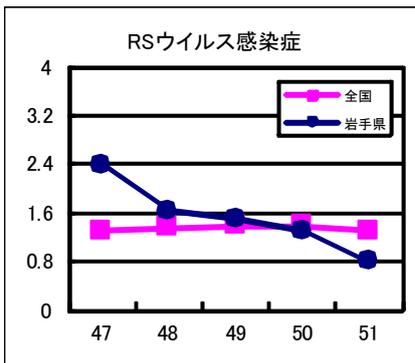
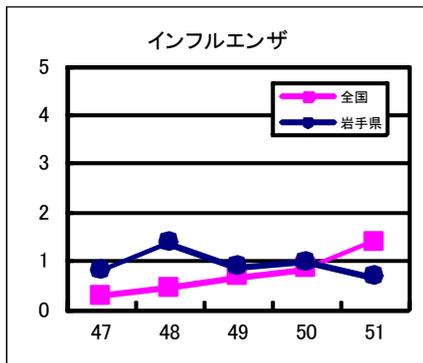
岩手県感染症情報センター

第51週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が、4例ありました。そのうち潜在性結核は2例です。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が、大船渡地区から1例ありました。
- 4 類感染症 ・レジオネラ症の患者の報告が、県央および奥州地区から1例ずつありました。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・風しんの報告が大船渡地区から1名ありました。患者は30歳代の男性です。今年9例目の報告となりました。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・感染性胃腸炎は、患者数が多い状況が続いています。地区別では、中部、宮古および二戸地区で警報値(定点あたり患者数20人)を超えています。この週も、保育園等や老人施設等でノロウイルスによる集団感染事例が発生しており、引き続き注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗い(帰宅後、調理前、排便後など)と、患者の便や吐物の適切な処理が重要です。
 - ・インフルエンザは、県全体で定点あたり患者数が0.67人と前週よりやや減少しました。例年、年があげると大きく流行するので、今後の発生の動向に注意が必要です。予防には、できるだけ人混みを避ける、帰宅時の手洗い、咳エチケット(咳が出るときはマスクをするなど)などが重要です。
 - ・溶連菌咽頭炎は、中部地区で11月中旬から患者の多い状況が続いています。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

※第42週より感染性胃腸炎（ロタウイルス）が定点把握対象疾病となりました。

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		47	48	49	50	51		
インフルエンザ	岩手県	0.78	1.36	0.88	0.98	0.67	→	☆
	全国	0.27	0.44	0.67	0.82	1.39		
RSウイルス感染症	岩手県	2.38	1.63	1.5	1.3	0.8	↘	☆
	全国	1.3	1.35	1.39	1.39	1.3		
咽頭結膜熱	岩手県	0.15	0.23	0.35	0.15	0.28	→	☆
	全国	0.46	0.57	0.66	0.73	0.8		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.85	1.78	1.93	2.1	2.35	→	☆
	全国	1.49	1.9	2.08	2.28	2.38		
感染性胃腸炎	岩手県	3.23	6.53	9.38	13.38	13.53	↗	☆☆☆
	全国	6.72	10.33	13.11	15.92	18.07		
水痘	岩手県	2.78	2.8	3.28	3.13	2.95	→	☆
	全国	1.15	1.64	1.69	1.85	2		
手足口病	岩手県	0.25	0.08	0.18	0.3	0.3	→	☆
	全国	0.64	0.59	0.47	0.41	0.36		
伝染性紅斑	岩手県	0.1	0.08	0.08	0.28	0.43	↗	☆
	全国	0.06	0.07	0.08	0.09	0.1		
突発性発疹	岩手県	0.48	0.43	0.48	0.4	0.43	→	☆
	全国	0.49	0.56	0.53	0.5	0.47		
百日咳	岩手県	0.03	0	0.03	0	0.03	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0.05	0.03	0.08	0	→	
	全国	0.07	0.06	0.05	0.04	0.03		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.48	0.43	0.48	0.75	0.8	→	☆
	全国	0.22	0.28	0.29	0.26	0.29		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.5	0.79	0.5	0.5	0.79	→	☆
	全国	0.61	0.58	0.56	0.67	0.71		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.01	0.02	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.04	0.03	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.53	1.37	0.95	1.21	0.74	↘	☆
	全国	0.45	0.4	0.36	0.39	0.33		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	岩手県	0.05	0	0.05	0	0.11	→	
	全国	0.03	0.05	0.04	0.04	0.08		
インフルエンザ（入院患者） ※報告数であることに注意	岩手県	2	6	1	3	0		
	全国	21	44	37	43	70		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ☆：患者が発生しています
- ☆☆：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が
10週より対象疾患になりました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		47	48	49	50	51	累計	51	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	7 (5)	7 (3)	5 (3)	1 (0)	4 (2)	227 (78)	354	25932
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	4
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	141
	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	0	1	101	21	4000
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	66
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	49
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	4	118
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	124
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	17
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	8
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	1	6
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	4
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	48
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	13
	つつが虫病	0	0	0	0	0	7	17	330
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	244
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	174
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	9
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	48
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	19
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	4
	レジオネラ症	0	0	0	0	2	15	8	1095
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	1	1	29
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

（患者発生数）

※侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症が第14週より、鳥インフルエンザ（H7N9）が第19週より届出対象疾患となりました。

分類	疾病名	（週） 岩手県					全国		
		47	48	49	50	51	累計	51	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	1	0	4	13	1019
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	3	281
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	3	3	353
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	19
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	201
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	196
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	19	1496
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	80
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	1	3	103
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	21
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	1	0	0	3	20	930
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	29
	梅毒	0	0	0	0	0	2	11	1195
	破傷風	0	0	0	0	0	1	0	123
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	52
	風しん	0	0	0	0	1	9	15	14340
麻しん	0	0	0	0	0	0	4	225	
指定	鳥インフルエンザ（H7N9）	0	0	0	0	0	0	0	0

今注目の感染症

風しん

風しんは、風しんウイルスによっておこる、発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症です。風しんウイルスは患者の飛沫（唾液のしぶき）などによって他の人にうつります。発疹のでる2～3日前から、発疹がでた5日くらいまでの患者は感染力があると考えられています。

風しんの予防にはワクチン接種が有効です。定期予防接種の対象者（1歳、年度内に6歳になる方）は年度内に接種しましょう。

全国では、2013年は、全数把握疾患となった2008年以降、第50週現在で13,344人と最大の報告数となりました。岩手県での発生状況は2008年以降15例の報告がありました。そのうち2013年はこれまでに9例報告されています。

岩手県内における風しんの届出状況（平成20年1月～平成25年12月）

診断日	保健所	性別	年齢	予防接種歴	備考
平成25年12月9日	大船渡	男	31	無	検査診断例
平成25年9月4日	宮古	女	15	1回	臨床診断例
平成25年5月24日	県央	男	46	不明	臨床診断例
平成25年5月23日	釜石	男	28	無	検査診断例
平成25年5月23日	奥州	男	13	無	臨床診断例
平成25年5月18日	宮古	男	31	無	検査診断例
平成25年5月7日	宮古	男	62	不明	検査診断例
平成25年4月15日	県央	男	2	不明	臨床診断例
平成25年2月8日	中部	男	19	無	検査診断例
平成24年8月9日	奥州	男	14	2回	臨床診断例
平成23年3月23日	盛岡市	男	21	無	検査診断例
平成22年12月27日	一関	男	5	1回	臨床診断例
平成20年12月26日	奥州	男	34	不明	検査診断例
平成20年6月17日	中部	男	6	1回	臨床診断例
平成20年6月9日	中部	男	7	不明	臨床診断例

平成20年1月1日から風しんは、全数把握疾患に変更されました。

今注目の感染症 (つづき)

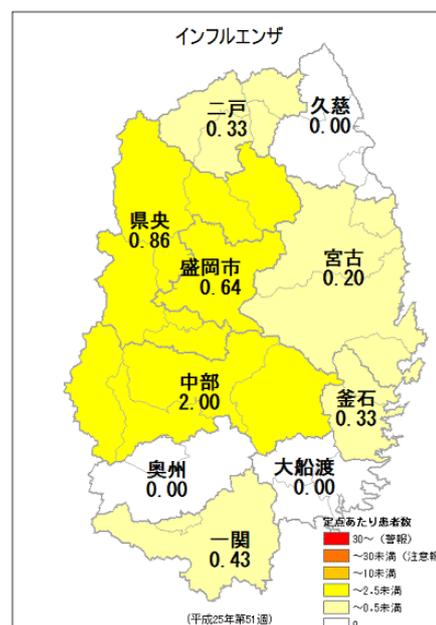
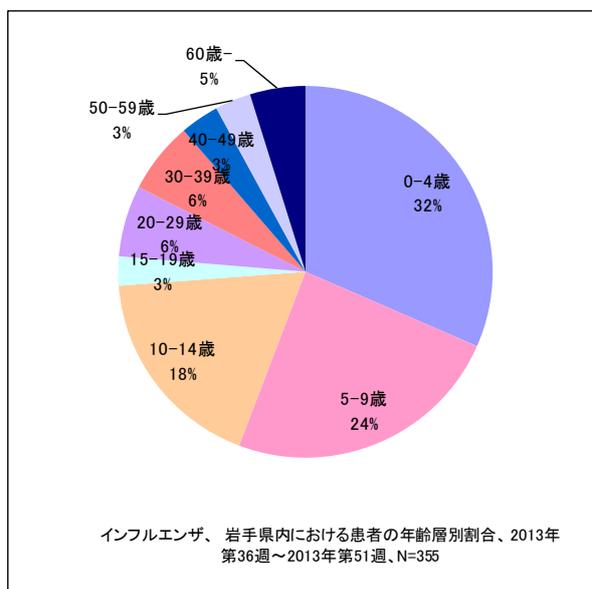
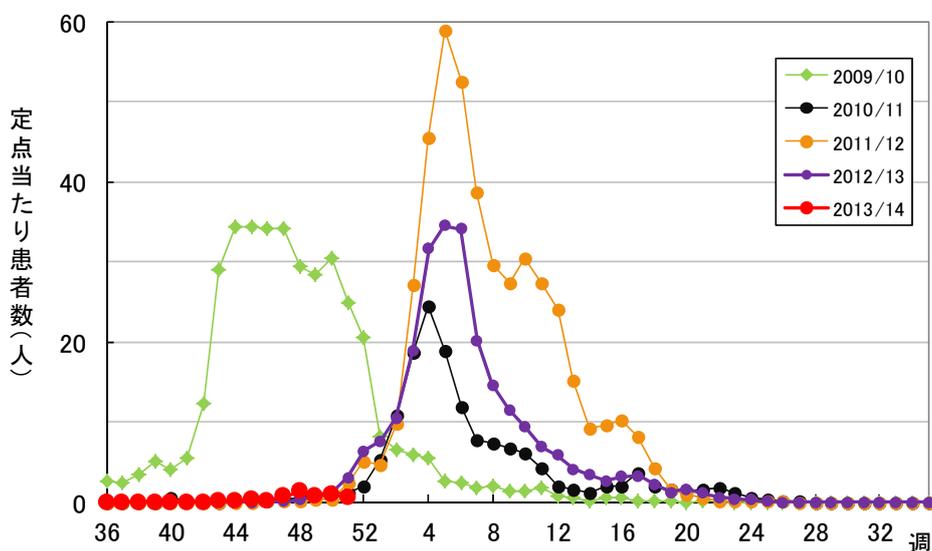
インフルエンザ

インフルエンザは、第48週で県全体で定点あたり患者数1.36となり、流行の開始の指標である1.0人を超え、今年もインフルエンザの流行シーズンに入りました。第49週は0.88人、第50週は0.98人、第51週は0.67人と大きな増加はみられません。

予防には、なるべく人混みを避ける、ワクチン接種、帰宅時の手洗い、咳エチケット（咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳が出るときはマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受けた時はすぐに手を洗うなど）、十分な休養と栄養をとることなどが重要です。ワクチンは接種後2週間で効果が現れることから、流行拡大前の早めの接種が勧められます。

県環境保健研究センターで実施しているウイルス検査では、A香港型ウイルスが検出されています。

インフルエンザ、岩手県(2009/10-2013/14)



今注目の感染症 (つづき)

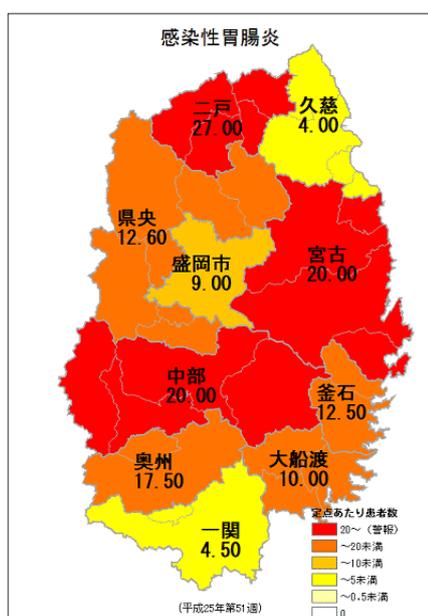
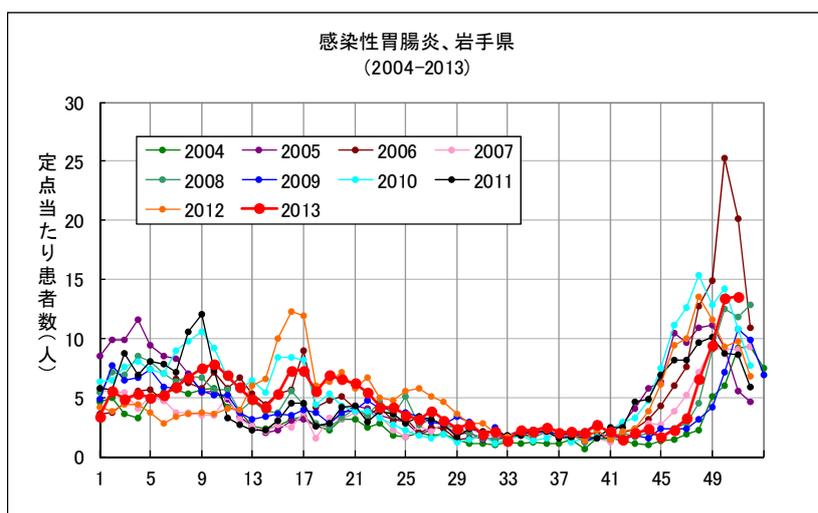
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスはロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では患者からは、流行の全般はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

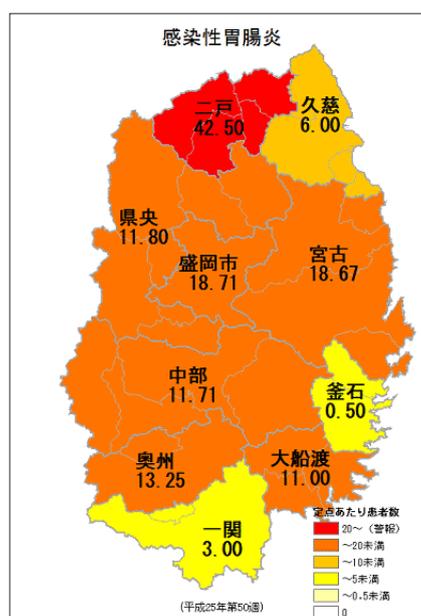
感染性胃腸炎の報告数は、例年、10月頃から増加し12月にピークを迎えますが、今年は11月下旬より急激に増加し、12月に入ってこれまでにノロウイルスによる集団感染事例が、保育園や老人福祉施設で14例発生しています。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です、感染力が強いので、保育園や幼稚園などの集団生活の場では注意が必要です。予防には、石けんと流水を用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。

厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>



第51週



第50週

病原体検出情報

- ・この週に病原体検出情報はありません。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

盛岡市内の認知症対応型共同生活介護事業所（入居者数18名、職員数17名）

- ・12月13日（金）から12月19日（木）にかけ、13名（入居者7名、職員6名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者5名中5名（職員5名）からノロウイルスを確認

宮古市内の養護老人ホーム（利用者数141名、職員数49名）

- ・12月11日（水）から12月18日（水）にかけ、24名（利用者19名、職員5名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者9名中7名（利用者4名、職員3名）からノロウイルスを確認

北上市内の保育所（園児数100名、職員数24名）

- ・12月15日（日）から12月23日（月）にかけ、19名（児童16名、職員3名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者6名中6名（児童3名、職員3名）からノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園（園児数24名、職員数8名）

- ・12月9日（月）から12月20日（金）にかけ、11名（園児11名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者3名中3名（園児3名）からノロウイルスを確認

金ヶ崎町内の介護老人保健施設（利用者数90名、職員数61名）

- ・12月20日（金）から12月24日（火）にかけ、18名（利用者16名、職員2名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者2名中2名（利用者1名、職員1名）からノロウイルスを確認

奥州市内の保育所

- ・12月14日（土）から12月24日（火）にかけて、19名（児童15名、職員4名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者6名中3名（職員3名）からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について（12月20日～12月26日発表分）

- ・岩手県および盛岡市からの発表はありません。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

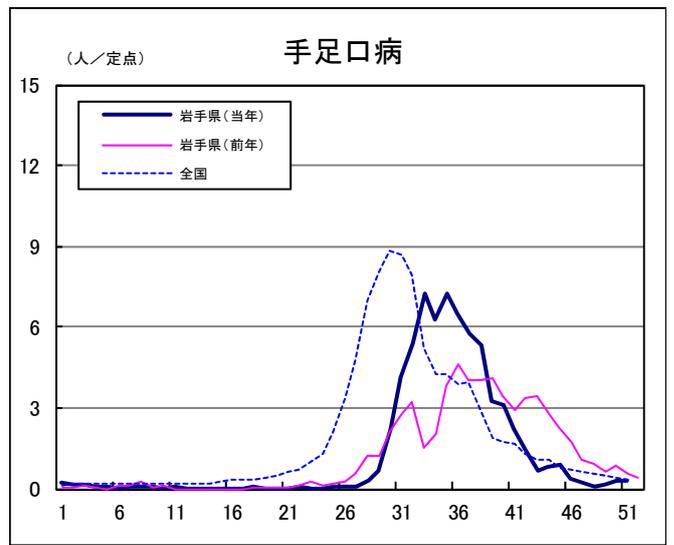
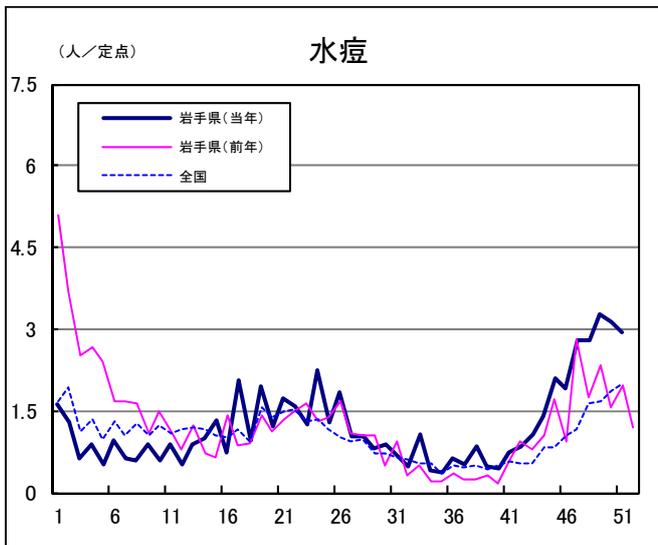
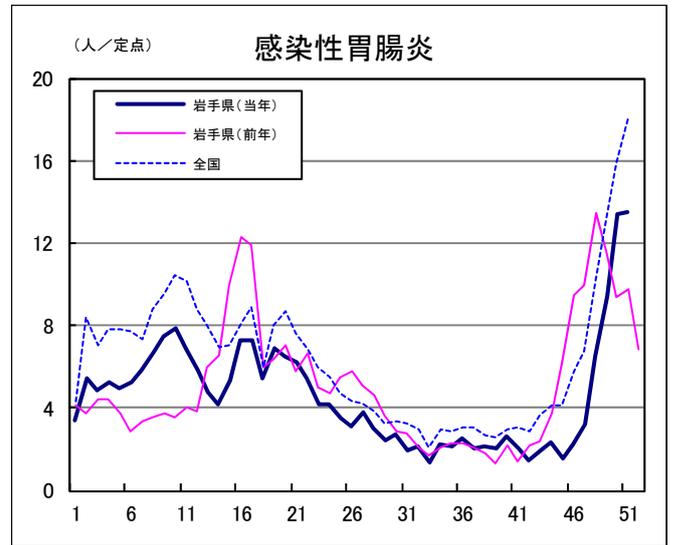
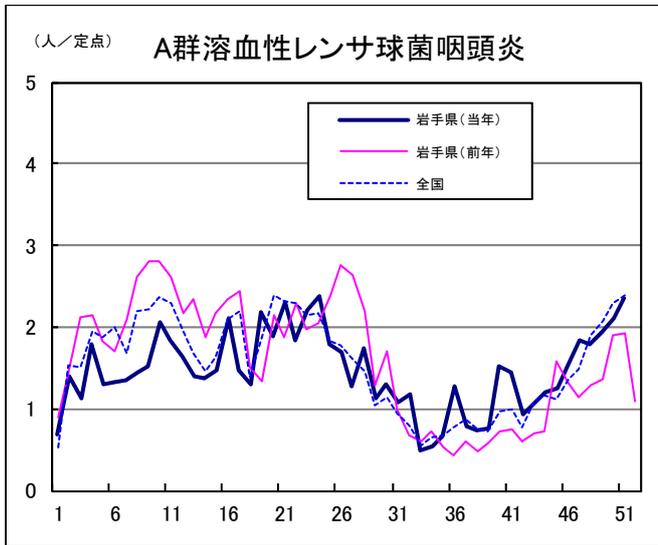
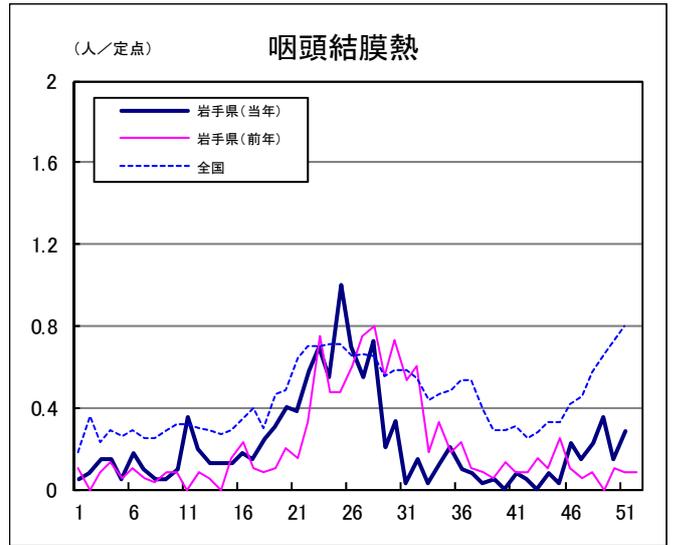
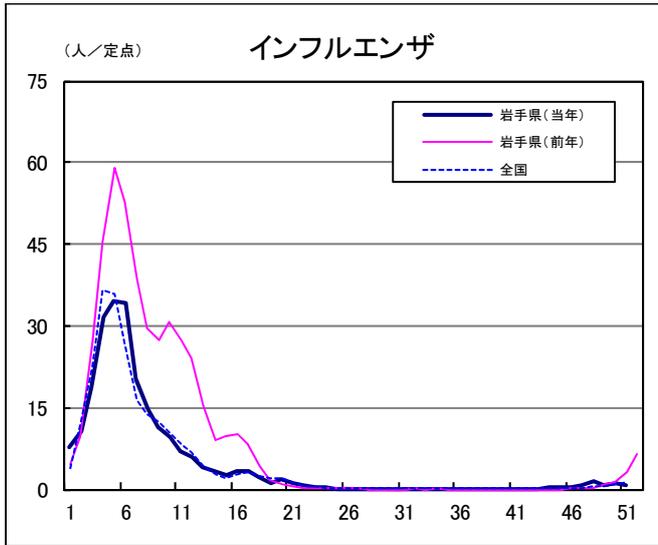
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

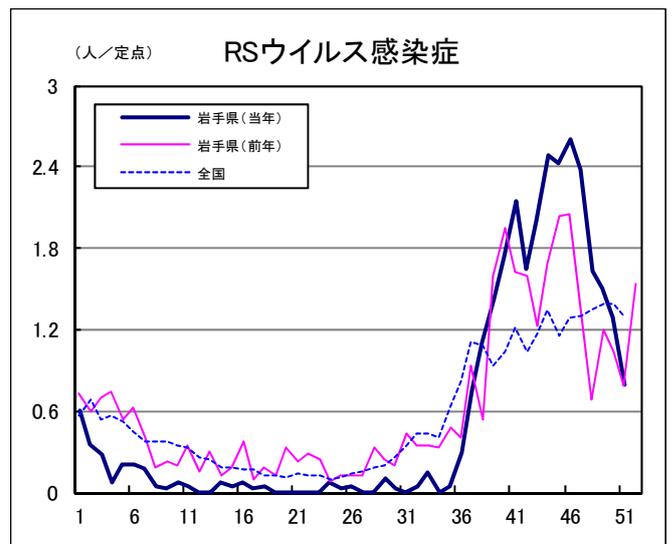
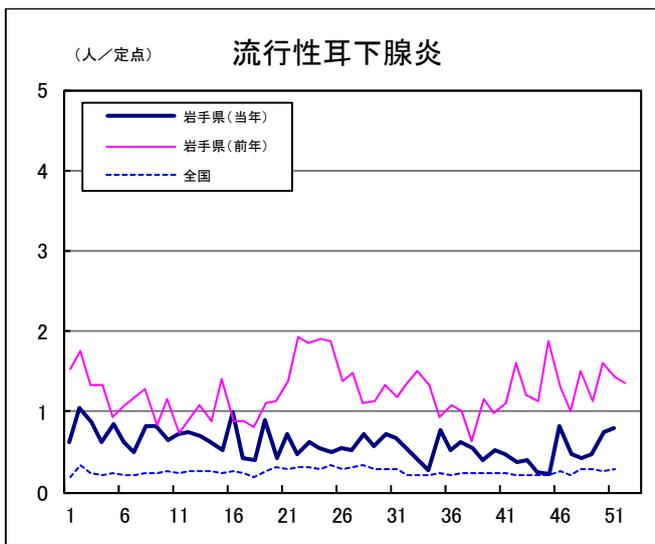
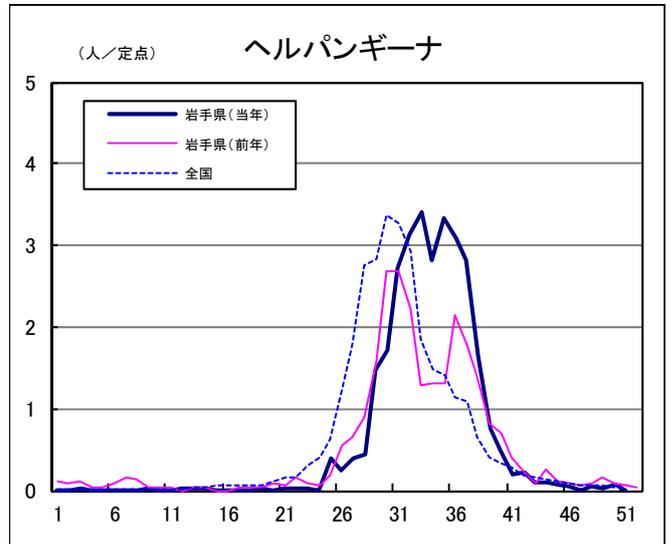
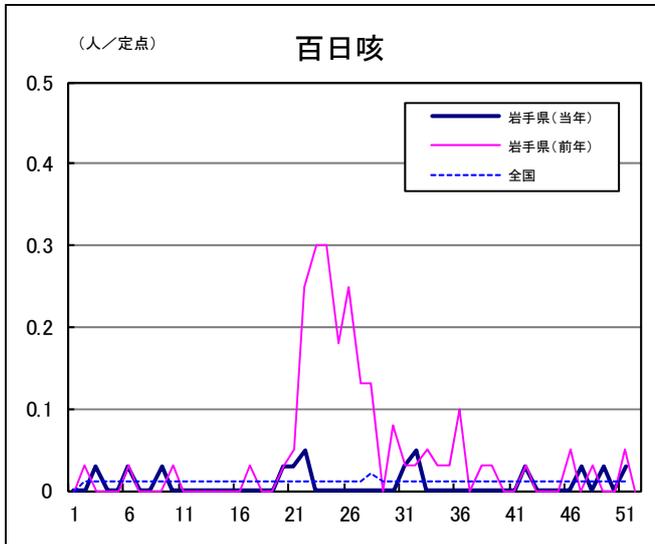
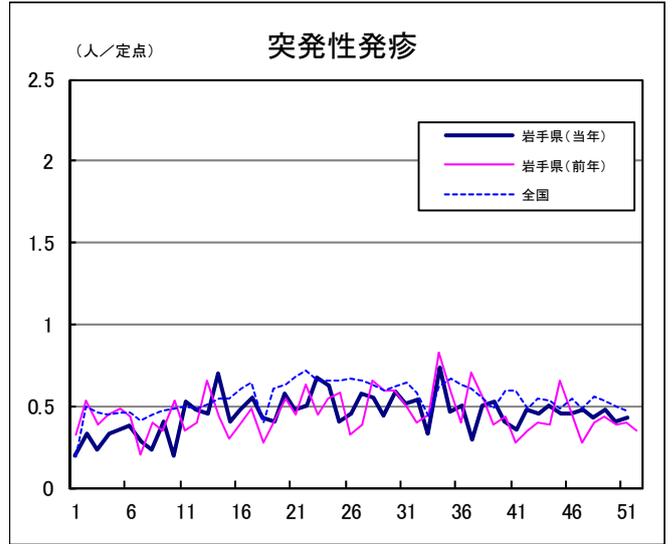
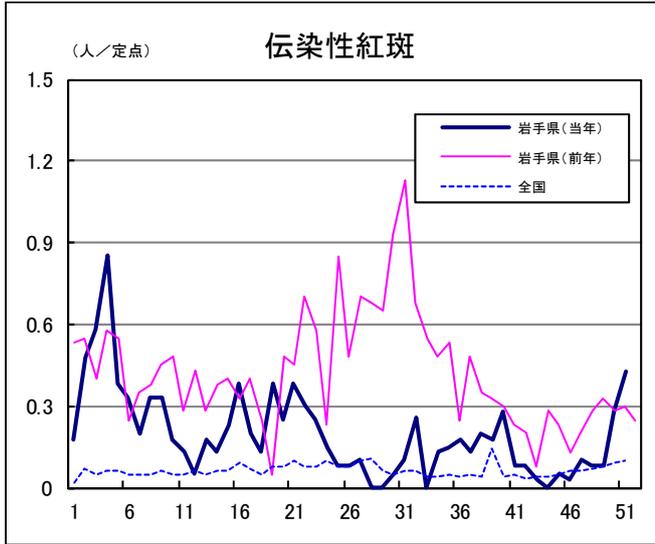
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

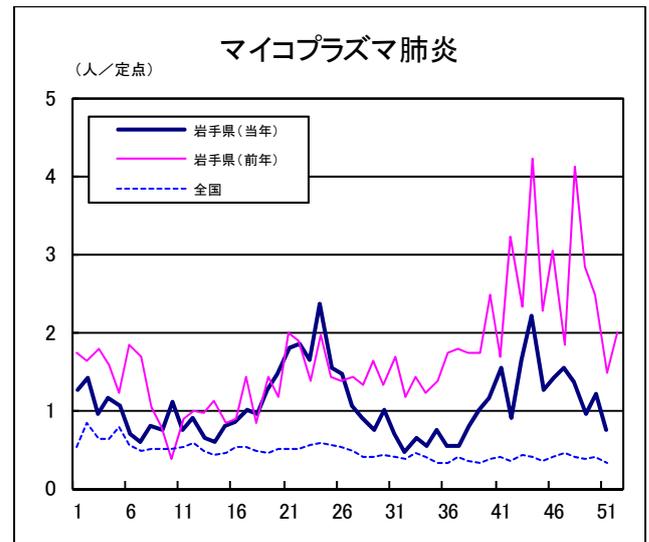
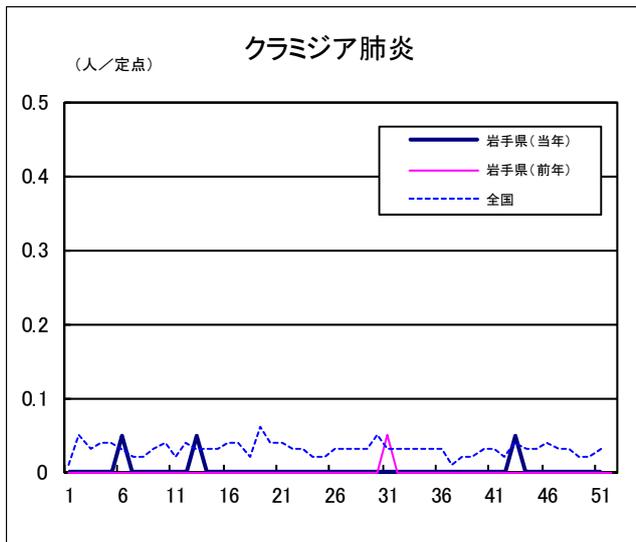
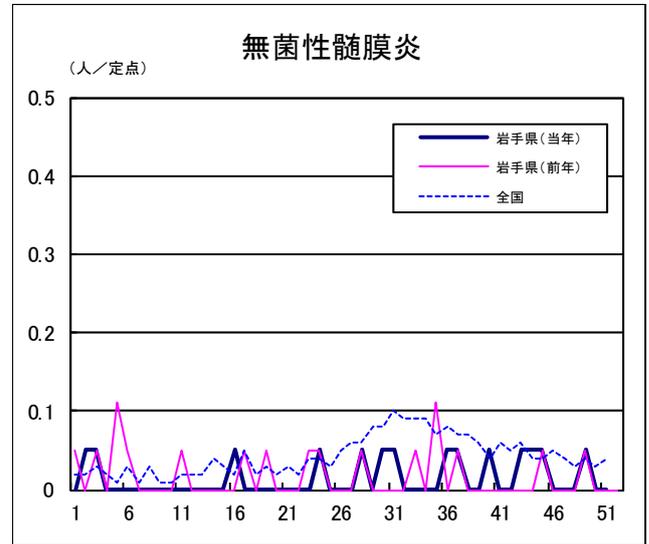
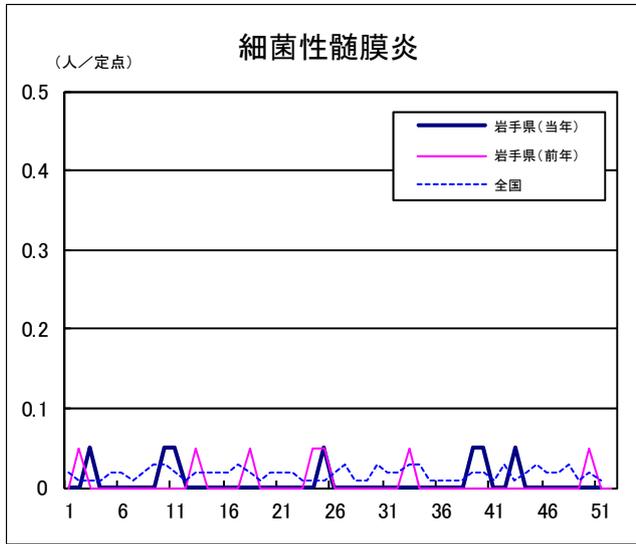
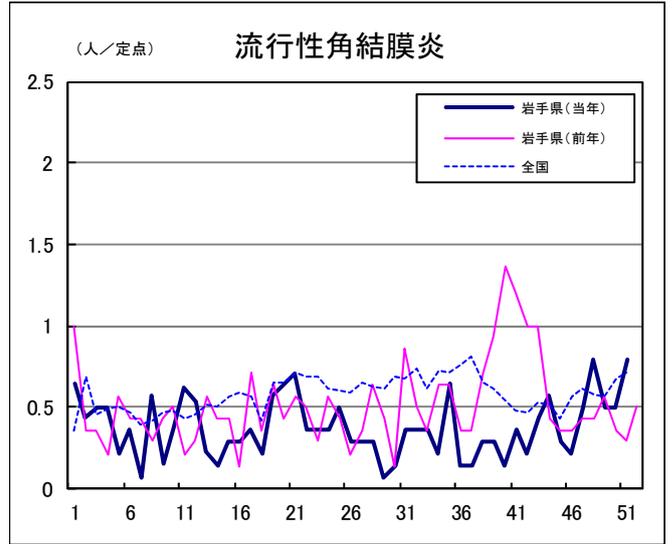
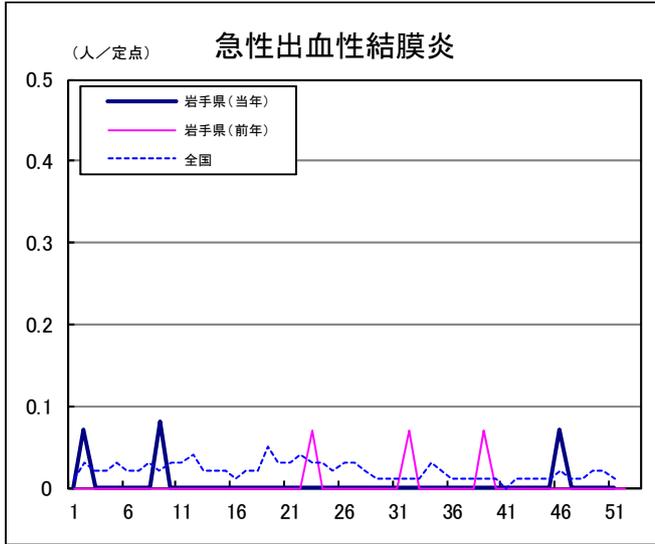
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成25年第51週 平成25年12月28日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>